

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

臨床研究名称： 有限要素解析を用いた脛骨高位骨切り術前後における内側半月板への
応力変化の解析

研究の目的

変形性膝関節症において内側半月板は軟骨摩耗の進行を遅らせる重要な因子です。早期変形性膝関節症の患者様では高位脛骨骨切り術が行われますが、本手術後に内側半月板にかかる負担がどの程度変化するのは明らかになっておりません。本研究では手術前後のMRIデータから半月板にかかる負担を数値化し、より適切な手術が実施できることを目的としています。

研究実施期間： 実施許可日 ~ 2028年 3月 31日

対象となる方： 2019年1月1日~2023年3月31日までの間、附属病院整形外科を受診し、変形性膝関節症と診断され、高位脛骨骨切り術を受けられた方

利用させていただきたい試料・情報について

(他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む)

当院のカルテに記録されている情報のうち、年齢、性別、身長、体重、膝関節の可動域、疼痛の程度、膝症状のスコア、画像データについて、標記研究のために利用します。

具体的には、MRI画像を3次元再構築してから有限要素解析の専用ソフトにデータ移行し、内側半月板にかかる応力を定量化します。応力の変化や術前基礎データが術後の膝機能や膝症状スコアに与える影響を統計解析して検討します。本結果により適切な矯正角度や半月板処置の方法が明らかになることで、適切な手術計画を行い、よりよい術後成績を得られるようになります。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して(これを匿名化といいます)、行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん/その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本件連絡先	所 属：弘前大学大学院医学研究科 むつ下北地域医療学講座 職 名：講師 氏 名：佐々木英嗣 連絡先：(弘前大学大学院医学研究科整形外科学講座内) 弘前市在府町 5 電話：0172-39-5083 FAX：0172-36-3826
-------	--